

五島地協第7回定期総会を開催!

～次の飛躍へ 確かな一歩を～



谷川議長あいさつ

11月11日(土) 連合長崎五島地域協議会第7回定期総会をホテル上乃家(五島市)で開催した。来賓には連合長崎高藤事務局長、北川副事務局長、平和運動センター平野事務局長、労金五島支店長嶺支店長、山田県議、草野市議、今中自治労総支部長にお越しいただき、お祝いの言葉をいただいた。

主催者を代表して、谷川議長は組織拡大、政策制度の実現に向けた取り組みについてお願いした。

大会議長には脇平代議員(五島中央病院労組)を選出。大会では、2017年度一般経過報告、会計報告、会計監査報告を行った後、第1号議案2018年度活動方針(案)では、連合長崎の運動方針を踏まえ、①組織拡大の取り組み、②総合生活改善



連合長崎高藤事務局長あいさつ

の取り組み、③政策・制度要求の取り組み、④国民運動の取り組み、⑤政治活動の取り組み、⑥教育・文化・レク活動の取り組み、⑦労働者福祉・ボランティア活動の取り組み等、連合長崎が掲げる「働くことを軸とする安心社会の実現」に向け取り組むことが確認された。

引き続き第2号議案「予算案」提案を行い、第3号議「役員改選」とともに承認された。

質疑は「衆議院選挙に対する対応について」あげられ、今後の決議機関で意見反映していくことを確認した。

最後に今大会で議長に選出された、釘本議長の発声のもと「団結ガンバロー」で閉会した。



全労済宮崎係長あいさつ

11月11日(土) 16時からホテル上乃家で、第26回五島地区労協定期総会を開催した。大会は、谷川会長の挨拶のあと、来賓挨拶として労金五島支店長嶺支店長、全労済長崎推進本部宮崎様よりお祝いの言葉をいただいた。

大会では、2016年度一般経過報告、会計報告、会計監査報告と2017年度運動方針案及び予算案を承認し、スローガンの採択、役員改選と続き、最後に坂口副会長の閉会挨拶で、今後ますますの労協協運動の前進を確認し大会を閉会した。

第26回五島地区労協定期総会



秋晴れのもと アジア・アフリカ支援米稲刈りを行いました

10月7日(土) 10時30分から連合五島地協主催のアジア・アフリカ支援米の稲刈りを実施した。

当日は天気も良く組合員・家族20人が参加し、秋空のもと稲刈りに汗を流した。

6月24日に植えた苗は大きく育ち、270キを収穫した。

収穫した米は各地区で収穫された分と合わせて2018年1月にアフリカのマリ共和国とカンボジのクックマ孤児院に送られます。